

起業のマインドを学ぶ

# ライフサイエンス アントレプレナー 入門塾2019

(全8回 土曜開催)

life science  
entrepreneur  
seminar

## 対象

- 学生、大学・研究機関の研究者、企業の研究者、事業開発担当者
- 健康科学・医療に関連する研究・事業開発・起業に興味を持つ方、または支援する方

大学・研究機関・産業界の第一線で活躍する講師による専門分野の入門的な講義と少人数制が魅力のセミナーです。グローバルな視点も織り交ぜたライフサイエンスビジネス全般の現状・課題のほか、起業・事業開発に役立つ知財の知識やマインドセット、オープンイノベーションについても学べます。

定員 25名

開催期間 5/11(土)～12/14(土)  
13:00～18:30 (全8回共通、交流会も含む)

参加費 社会人 20,000円、大学院生 5,000円  
(※全8回分、交流会費を含む)

会場 大阪会場：公益財団法人 都市活力研究所  
(大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーC 7階)

神戸会場：理化学研究所 融合連携イノベーション推進棟  
(神戸市中央区港島南町6-7-1 IIB 6F)

申込み 問合せ [mot8@urban-ii.or.jp](mailto:mot8@urban-ii.or.jp) ※メールにてお申し込み下さい  
公益財団法人都市活力研究所 担当:味村  
TEL. 06-6359-1322

※交流会でのネットワーキングも、この塾の重要なカリキュラムの一部です。  
全8回ご出席を前提として交流会費を含む参加費を開講日に徴収いたします。

※当プログラムでは、公益財団法人都市活力研究所が「パイオ講座」として開催しており、今回で8年目を迎えます。

## 受講上の 注意

- ・ 全8回出席することを前提でお申し込み下さい。
- ・ 参加者全員とのネットワーク形成のために、交流会はプログラムの一部として必ずご参加下さい。
- ・ 各講義の習熟度、受講の感想などを把握するため、アンケートへの回答とプログラム終了時にレポートの提出をお願いします。
- ・ 7回以上の出席、および修了レポートを提出される方には修了証を授与します。

# ライフサイエンスアントレプレナー入門塾2019

## カリキュラム (毎月第2土曜日 13:00~18:30)

5/11 (土) <大阪会場>

①「オリエンテーション」

②「健康生き活き羅針盤  
リサーチコンプレックスにより  
開発した健康関数™」

水野敬

(理化学研究所 健康生き活き羅針盤リサーチ  
コンプレックス推進プログラム  
健康計測解析チーム チームリーダー)



森 一郎

(神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 特命教授)

味村 和洋

(都市活力研究所 首席研究員)

卯津羅 泰生

(理化学研究所 健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス 事業化グループ  
連携促進コーディネーター)

水野 敬

2007年大阪市立大学大学院博士課程修了、博士(医学)。日本学術振興会・特別研究員、科学技術振興機構・研究員、理化学研究所分子イメージング科学研究センター・研究員等を経て2017年より現職。大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学講座・特任准教授、大阪市立大学健康科学イノベーションセンター・センター副所長も兼任。著書は2008年「Fatigue Science for Human Health」、2016年「おいしく食べて疲れをとる」、2018年「疲労と回復の科学」など。専門分野は疲労科学、脳科学。

1

6/8 (土) <大阪会場>

③「人と組織を動かす  
プレゼンテーションの極意」

新名史典

(株式会社Smart Presen 代表取締役)



④「事例から見るデジタルヘルス  
事業創造のポイント」

南雲俊一郎

(日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング  
部門 ヘルスケア・事業創造グループ担当  
部長・プリンシパル)



新名 史典

圧倒的なプレゼン機会の経験に基づき、「人と組織」を動かすためのプレゼンテーション理論を確立。年間300件の企業・団体・自治体研修での指導にあたり、MOTスクールでの登壇、奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学など研究機関での登壇、文部科学省国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターなどの各プロジェクトにてプレゼンテーション・ビジネスプランのブラッシュアップの指導にあたる。

南雲 俊一郎

東北大学大学院 工学系研究科 原子核工学(修士課程)修了後、株式会社日本総合研究所入社、現在に至る。専門テーマは、技術の事業化支援を必要とする新規事業創出・マーケティング戦略再構築が専門領域。主な執筆記事は、「技術価値創造を通じた研究開発テーマの再構築」(Business Research No.1026,2009年/12月,社団法人企業研究会)など。コンサルティング実績は、大手製薬メーカー、大手医療機器メーカー、大手電機メーカー、ITベンチャーなど多岐に渡る。

2

7/13 (土) <大阪会場>

⑤「勃興するバイオエコノミーと  
岐路に立つ日本」

山本一彦

(神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 教授  
経営学研究科 教授(兼任))



⑥「健康寿命延伸への取組みとその課題」

浦田千昌

(認定NPO法人 健康ラボステーション理事長)



山本 一彦

住友電気工業(株)、(株)野村総合研究所(企業財務調査室)を経て、ベンチャー企業などで財務、経営戦略の責任者を経験。1998年に独立系ベンチャーキャピタルを創業し、代表取締役に就任。創業期専門ベンチャーキャピタリストとして、長年にわたりベンチャー企業の投資育成に取り組む。2016年1月に神戸大学発ベンチャーの創業支援等を目的に設立された(株)科学技術アントレプレナーシップの取締役に就任(現在)。2016年4月に神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科の教授に就任(現在)。

浦田 千昌

立命館大学 経営学部経営学科卒業後、旧住友銀行に入行。2003年に株式会社育星舎に入社し、2013年にNPO法人健康ラボステーション設立(2015年認定NPO法人へ)。大阪市立大学健康科学イノベーションセンターや阪急阪神ホールディングスなどで地域向け健康測定会をはじめ、ユニカミノルタ(株)や住友商事(株)、大阪ガス(株)では、社員向け健康測定&栄養相談会を実施。一昨年から、理化学研究所や医薬基盤・健康・栄養研究所との共同研究をスタート。健康人のデータ収集担当としての活躍の場も広がってきている。

3

8/10 (土) <神戸会場>

⑦「脳と個性」

高橋佳代

(理化学研究所 生命機能科学研究センター  
健康・病態科学研究チーム 上級研究員)



⑧「SDGsの世界感を理解する  
SDGs体験ワークショップ」

今田大輔

(一社インバウンド・ダイバーシティ協会  
代表理事)



高橋 佳代

2006年スウェーデン・ウプサラ大学大学院博士課程単位取得退学。博士(医学)。2006年理研分子イメージング研究プログラム研究員、分子イメージング科学研究センター研究員、ライフサイエンス技術基盤研究センター研究員を経て、2016年より現職。脳内ホルモンの働きとヒトの感情・気質の関係についての脳科学研究に携わる。

今田 大輔

明治大学政経学部政治学科卒業後、新卒で議員秘書になる。20代で2度出馬するも落選。30代で関西学院大学専門職大学院にてMBAを取得し、コンサルファームにてPPP(公民連携)分野を担当しPFIや指定管理のアドバイザーや公共施設の第三者評価業務に従事。現在は地方創生として、SDGs目標17のパートナーシップの観点からインバウンドにかかわるとともに、SDGsコンサルタントとして企業や学校、団体等に対してアドバイザーを行っている。※入門塾卒業生。

4

## 9/14 (土) &lt;大阪会場&gt;

## ⑨ 「高齢者の安全で有効な薬物治療のために」

平井みどり (兵庫県赤十字血液センター 所長)



## 平井みどり

神戸大学大学院医学研究科生理学系先行博士課程修了後、京都大学医学部附属病院 薬剤部 文部教官助手、神戸薬科大学 助教授、神戸薬科大学 教授、神戸大学医学部附属病院 教授・薬剤部長を経て現職、現在に至る。当講義では、「ポリファーマシー」状態を是正し、安全で有効な薬物治療を行うための考え方・対応策について述べてみたい。

⑩ 「医療機器開発の現状と課題」  
保多隆裕(神戸大学医学部附属病院  
臨床研究推進センター 特命准教授)

## 保多 隆裕

内資・外資の製薬会社で10年余り創薬研究に励んだ後に退職。海外の大学院で博士号を取得し、上席研究員としてとどまる。帰国後は神戸大学医学部附属病院で医薬品、医療機器、健康食品のトランスレーショナルリサーチを実施。当講義では、医療機器の開発のプロセスおよび日本の医療機器産業の現状と課題について解説する。※入門塾卒業者。

## ⑪ 「入門塾卒業起業家の紹介①」

## 10/12 (土) &lt;大阪会場&gt;

## ⑫ 「病院建築は医療経営のエッセンスを全て含んでいる」

福島公明 (立命館大学 OIC総合研究機構  
医療経営研究センター 客員教授)

## 福島 公明

1995年 大阪府済生会吹田病院事務長。在職中、済生会全国事務長会 会長就任。2006年淀川キリスト教病院局長、本部長。2010年独立行政法人 国立循環器病研究センター理事就任(兼務)。2015年立命館大学OIC総合研究機構 医療経営研究センター 客員教授就任、現在に至る。スマートウェルネス研究会 代表幹事、市立池田病院 経営委員会 会長、他を歴任。現在 公立甲賀病院評価委員会委員長、茨木市総合福祉審議会 健康医療推進分科会委員。

## ⑬ 「事業化を目指す研究者のための特許と契約」

浅野滋啓 (九州大学・ARO次世代医療センター 特任准教授)



## 浅野 滋啓

1987年、京都大学大学院・農学研究科農芸化学修士課程修了後、武田薬品工業にて生産技術研究所・バイオ技術センター、知的財産部・知財情報グループ 主席部員(係争訴訟担当)、Takeda Europe R&D Center、知的財産部・シニアマネージャー、Strategy & Operation, IP & Alliance Directorを歴任後、2017年11月より現職。広島大学・トランスレーショナルリサーチセンター 客員准教授、日本ライセンス協会 (LES Japan) 理事、教育副委員長、研究副委員長、ARO協議会知財専門家連絡会委員。※入門塾卒業者。

## 11/9 (土) &lt;大阪会場&gt;

## ⑭ 「ベンチャースピリットとポジティブシンキング」

安達宏昭 (株式会社創晶 代表取締役社長)



## 安達 宏昭

2003年大阪大学大学院工学部研究科博士後期課程、電気工学専攻 修了、博士(工学)、2003年大阪大学大学院工学研究科助手、2005年(株)創晶代表取締役社長、2011年社会福祉法人あおば福祉会理事、2013年(株)創晶應心代表取締役社長、2013年柴又運輸(株)顧問、2014年(株)創晶大学代表取締役社長、2016年(株)dotAqua代表取締役社長、2016年(株)A・P・M取締役、2016年(株)創晶超光代表取締役社長、2016年大阪大学大学院工学研究科招へい教授。ベンチャー起業には心理的な不安がマイナス要因として立ちをはかる場合が多い。特に。日本においては、ベンチャー起業に対するネガティブな印象が強い。その壁を打ち破るためには、個人のメンタル状態を良くしなければならぬ。私自身がメンタルトレーニングにより、(株)創晶の起業を後押しされた経験を有する。その後、メンタルトレーニングによるイノベーション創出を支援することを目的とした(株)創晶應心を創立するに至っている。当日は、ベンチャー起業に必要なマインドについて議論し、ポジティブシンキングに繋がるメンタルトレーニングを体験いただく予定である。

## ⑮ 「入門塾卒業起業家の紹介②」

## 12/14 (土) &lt;大阪会場&gt;

⑯ 「リーダーシップの本質と実践」  
能見貴人(FORESIGHT & LINX 株式会社  
代表取締役社長)

## 能見 貴人

東京大学大学院薬学研究科 博士課程(薬学博士)終了後、大阪大学産業科学研究所 助手、Roche分子生物学研究所 ポスドク、岡山大学工学部生物応用工学科 助教授、ノバルティス 移植研究領域 マネージャー、GSK筑波研究所 所長・生物科学研究部 部長、リーダーシップ開発 コンサルタント&幼児の創造性開発のための教室 主宰、製薬研究開発&事業開発 コンサルタント、Director, External Science & Partnering, Sanofi Global R&D、を経て現職。国内外の製薬企業やバイオベンチャーのオープンイノベーション、事業開発、創薬戦略に対するコンサルティングと実行支援を行っている。今日、あらゆる局面でリーダーシップの重要性が唱えられているが、一方でリーダーシップの本質とは何かという問いに明確に答えられる人は少ない。多くの場合リーダーシップとマネジメントが混同され、組織でのリーダーシップ開発が間違った方向に進められているケースも少なくない。当講義では、リーダーシップに関する様々な疑問に答えつつ、リーダーシップの本質を定義し、リーダーとして心に留めておくべき重要な点を解説する。

# ライフサイエンスアントレプレナー入門塾2019

## <入門塾の目的>

企業内起業・新規事業開発や起業にご関心をお持ちの方々のための、連続8回のアントレプレナーシップ入門セミナーです。健康や医療ビジネス全般の現状・課題理解、事業開発や起業のために役立つ基本知識、マインドセット醸成のための講義等を、異業種・異分野の方にも分かり易く講師陣に講義して頂きます。少人数制ですので、講師を含む参加者全員とのネットワーク形成も受講者皆さんの大きな目標として頂きます。

さらに、ライフサイエンス関連ビジネスのエコシステム構築を目指すJST支援事業「健康“生き生き”羅針盤リサーチコンプレックス」の活動・連携情報、大阪・関西でのライフサイエンスにおける事業化・起業の支援情報を得るためのオープンイノベーション入門セミナーとしてもご活用下さい。

## <受講理由・入門塾活用例>

職種	所属	活用例
研究者	大学院、理化学研究所	企業人との接点、オープンイノベーションや起業についての学びを得る
起業支援担当者	シンクタンク、監査法人の若手・中堅	ライフサイエンスビジネスの現状理解とネットワーキング
コーディネーター	産学連携担当者、オープンイノベーション担当者	異分野との接点、外部ネットワークの拡充
研究開発・事業開発担当	大企業 (製薬・食品・化粧品・IT関連等)	オープンイノベーションによる企業内起業を目指す
-	中小企業	新規事業・連携先の模索、自社技術の活用価値を高めるための情報収集、入門レベルの社外教育、ネットワークづくり

## 神戸会場

理化学研究所 融合連携イノベーション推進棟  
(神戸市中央区港島南町6-7-1 IIB 6F)



## 大阪会場

公益財団法人都市活力研究所  
セミナールーム

(大阪市北区大深町3番1号  
グランフロント大阪 タワーC 7階)

